

13.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様で自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保 証 書		サンワサプライ株式会社	
型 番: SW-KVMVDR	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名	保証期間 1年	お買い上げ年月日	年 月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



本製品の詳細情報はこちら!

スマホで読み込むだけで簡単にアクセス!



弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)
■ソフトダウンロード ■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL:086-223-3311 FAX:086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8568 東京都品川区南大井6-5-8 TEL:03-5763-0311 FAX:03-5763-0393
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL:011-611-3450 FAX:011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 T.M.仙台ビル TEL:022-257-4638 FAX:022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MEIKI TEL:052-453-2031 FAX:052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪府淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア TEL:06-6396-5310 FAX:06-6396-5315
広島営業所 / 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-18 新井ビル TEL:082-264-2716 FAX:082-264-2717
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル TEL:092-471-6721 FAX:092-471-6728

CD/BA/FNDAet



SW-KVMVDR

USB/VGA対応 スライドLCDコンソールドロワー 取扱説明書



この度は、USB/VGA対応スライドLCDコンソールドロワー「**SW-KVMVDR**」(以下本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------|----------------------------|----|
| ①LCDコンソールドロワー | 1台 | ⑦電源ケーブル(1.8m) | 1本 |
| ②ラックレール(左・右) | 各1本 | ⑧パソコン接続用ケーブル(1.8m) | 1本 |
| ③SW-KVM8UP取付け用ブラケット | | ⑨オーディオケーブル(1.8m) | 1本 |
| (前左・前右・後左・後右) | 各1個 | ⑩アース線(緑色Y字)(1.2m) | 1本 |
| ④ケージナット一式(M5×10mm) | 10セット
(内2セットは予備) | ⑪ファームウェアアップグレード用ケーブル(1.8m) | 1本 |
| ⑤本体取付け用ネジ(M4×6mm) | 6本 | ⑫ケーブル結束バンド(面ファスナー) | 3本 |
| ⑥SW-KVM8UPブラケット取付け用ネジ(M3×5mm) | 9本 | ⑬取扱説明書・保証書(本書) | 1部 |

※欠品や破損があった場合は、**品番**(SW-KVMVDR)と**上記の番号**(①～⑬)と**名称**(ケーブル結束バンドなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

■安全にお使いいただくためのご注意	3
・注意	3
・お手入れについて	3
■取扱い上のご注意	3
1.特長	4
2.仕様	4
3.セット内容	5
4.各部の名称とはたらき	6～9
5.サーバーラックへの取付け	
・ラックレールの取付け	10
・本体をレールに取付ける	11～12
・パソコン自動切替器を後方に取付ける場合	13～14
6.サーバーとの接続	
・サーバーと本製品を接続する	15
・パソコン自動切替器を組み合わせで接続する場合	16～17
7.本製品の引き出し方法	18
8.本製品の格納方法	19
9.LCD ディスプレイの調整	
・LCD ディスプレイのOSD メニュー	20
・OSD の設定方法	21～24
・画面アスペクト比の変更	24
10.サポート解像度/リフレッシュレート(垂直周波数)	25
11.ホットキー操作	26
12.シャットダウンと再起動	27

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

■注意：下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
 - (1)直射日光の当たる場所
 - (2)湿気や水分のある場所
 - (3)傾斜のある不安定な場所
 - (4)静電気の発生する場所
 - (5)通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- (1)清掃するときは電源コードを抜いてください。
- (2)機器は柔らかい布で拭いてください。
- (3)シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめに行うことをお勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)

1.特長

- 18.5インチワイド画面のディスプレイとタッチパッド付キーボードが一体型となった、サーバーラックに収納できるLCDコンソールドロワーです。
- ディスプレイは1920×1200/60Hzまでの入力に対応し、解像度1366×768ドットにスケーリングして表示出力されます。
- スライドレール構造により未使用時はサーバーラックの1Uサイズにすっきり収納することができます。
- サーバー管理に必要なディスプレイ、キーボード、マウスのコンソール類を省スペースに設置・収納できるため作業効率が格段にアップします。
- ロングレール対応で弊社製パソコン自動切替器(SW-KVM8UP)との組み合わせが可能。複数台のサーバーを切替えて効率的に操作することが可能です。
- フロントパネルにはセカンドマウス用のUSBポートを搭載しており、リアパネルにはセカンドKVMコンソール(USBキーボード・マウスおよびVGAディスプレイ)ポートとスピーカー用の3.5mmステレオミニジャックが備えられています。

2.仕様

■対応機種

Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ
※USB Aコネクタ メス、ミニD-sub(HD)15pinディスプレイコネクタを持つ機種。

■対応OS

Windows11・10・8.1・8
Windows Server 2019/2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008/2003 R2/2003
macOS 13・12・11、macOS 10.12～10.15
Linux(CentOS、Ubuntu、openSUSE)

<共通仕様>

必要ラックユニット数	1U
サ ー バ 接 続 台 数	1 台 ※弊社製パソコン自動切替器(SW-KVM8UP)を使用することで複数台のサーバを切替操作可能。
イ ン タ ー フェ ース	<サーバ接続> オールインワンコネクタ/ SPDB18ピン(メス)×1 ※VGA/ キーボード/ マウス信号ラインを一体化 スピーカー /3.5mm ステレオミニジャック×1 <セカンドコンソール用> ディスプレイ/ ミニD-Sub(HD)15pin メス×1、キーボード/USB A コネクタメス×1、マウス/USB A コネクタメス×1 スピーカー /3.5mm ステレオミニジャック×1、USB2.0 ハブ/USB A コネクタメス×1 <ファームウェアアップグレードコネクタ> 3.5mm オーディオジャックメス×1
電 源	AC100～240V 50/60Hz
消 費 電 力	13.8W(100V)
取 付 け 条 件	ラックへ取付けは水平上向きのみ設置可能。水平度はラック仕様による。 19インチサーバーラック干渉を避けるため上下に1Uスペースを空けること。
環 境 条 件	動作温度/0～40℃、動作湿度/0～80%(結露なきこと) 保管温度/ー20～60℃、保管湿度/0～80%(結露なきこと)
サ イ ズ	W481×D477×H43mm(収納時)
重 量	8.8kg(ラックレールなし)・10.2kg(ラックレールあり)

<ディスプレイ>

- 液晶パネル：18.5インチTFT-LCD
- ディスプレイ解像度/リフレッシュレート：1366×768/60Hz
- 対応入力解像度：1920×1200/60Hz、1920×1080/60Hz、1680×1050/60Hz、1440×900/60Hz、1366×768/60Hz、1280×1024/75.60Hz、1280×800/60Hz、1024×768/75.70.60Hz、800×600/75.72.60.56Hz、720×400/70Hz、640×480/75.72.60Hz
- 応答時間：5ms
- ピクセルピッチ：0.3×0.3mm
- 対応色：1670万色
- 輝度：250cd/m²
- コントラスト比：1000:1
- 視野角：170°(水平)、160°(垂直)

<LED>

- 電源関連：電源ランプ(グリーン)×1、LCDパネル電源ボタン(オレンジ)×1
- キーボード：Num Lock(グリーン)×1、Caps Lock(グリーン)×1、Scroll Lock(グリーン)×1

<キーボード>

- キー数：105キー(日本語配列)
- キー方式：メンブレン方式
- キーストローク：2.6mm
- ピッチ：19mm(文字キー以外は除く)

<タッチパッド>

- タッチパッド方式：静電容量方式
- タップ機能：あり(シングルクリック、ダブルクリック、ドラッグ、スクロール)

<ボタン/スイッチ>

- リセットボタン：ピンホール型ボタン×1
- ファームウェアアップグレードスイッチ：スライド型スイッチ(2ポジション)×1
- 電源スイッチ：ロocker型スイッチ×1
- ディスプレイ操作スイッチ：プッシュボタン×5

3.セット内容

①LCDコンソールドロワー



②ラックレール(左・右)



③SW-KVM8UP取付け用ブラケット(前左・前右・後左・後右)



④ケージナット一式(M5×10mm)



⑤本体取付け用ネジ(M4×6mm)



⑥SW-KVM8UPブラケット取付け用ネジ(M3×5mm)



⑦電源ケーブル(1.8m)



⑧パソコン接続用ケーブル(1.8m)



⑨オーディオケーブル(1.8m)



⑩アース線(緑色Y字)(1.2m)



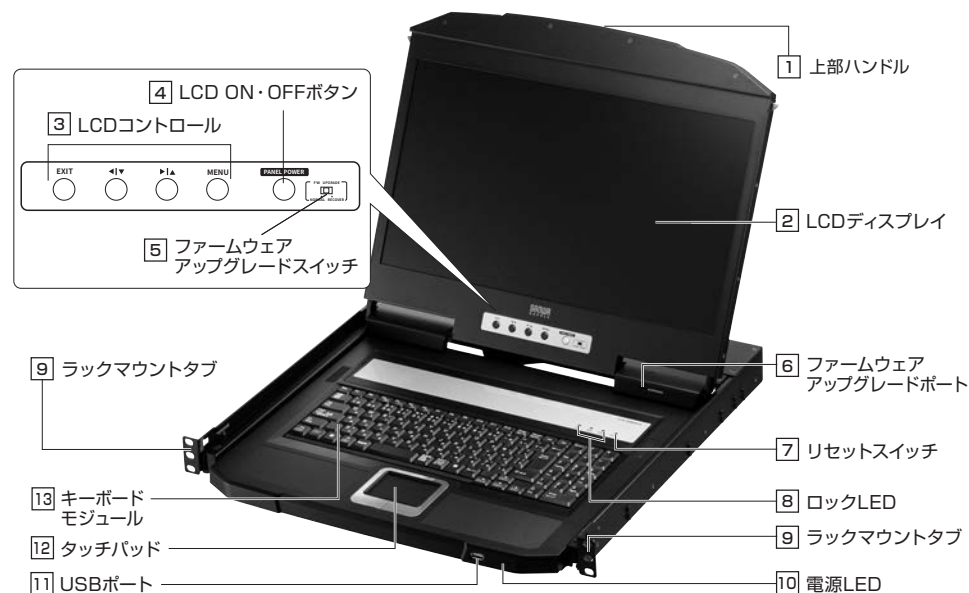
⑪ファームウェアアップグレード用ケーブル(1.8m)



⑫ケーブル結束バンド(面ファスナー)

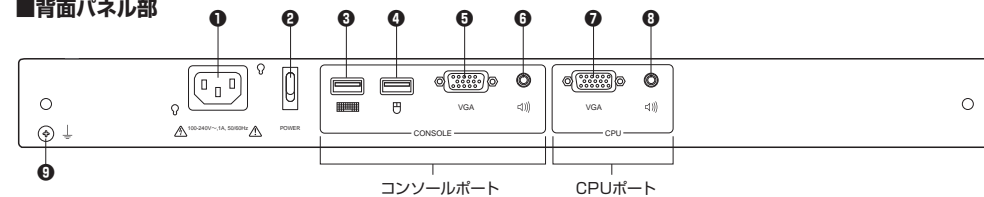


4.各部の名称とはたらき



1 上部ハンドル	LCDモジュールを引き出す、または中へ収納する際に使用します。コンソールの出し入れについての詳細はP.18「7.本製品の引き出し方法」、P.19「8.本製品の格納方法」を参照してください。
2 LCDディスプレイ	LCDモジュールを引き出した後、カバーを開けるとLCDディスプレイが使用できます。
3 LCDコントロール	ここにLCDディスプレイの画像の位置や画質を設定するボタンがあります。詳細はP.8を参照してください。
4 LCD ON・OFFボタン	このボタンを押すと、LCDディスプレイのON・OFFができます。LCDディスプレイがOFFの時にはこのボタンが点灯します。 ※このライトはディスプレイのみがOFFであることを示しています。 接続されたKVMスイッチの状態を表しているものではありません。
5 ファームウェアアップグレードスイッチ	このスイッチは使用しません。常時NORMAL側でご使用ください。
6 ファームウェアアップグレードポート	このポートは使用しません。
7 リセットスイッチ	ロックLEDの右側にあるスイッチです。先の細い物でこのピンホール型スイッチを押すとシステムの再起動を実行します。
8 ロックLED	[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock]のLEDランプです。
9 ラックマウントタブ	ラックに取付けの際使用します。
10 電源LED	製品本体に電源が入っている場合に点灯（グリーン）します。
11 USBポート	外付けマウスを使用したい場合接続することができます。
12 タッチパッド	標準マウスタッチパッドです。
13 キーボードモジュール	JIS準拠105キーボードです。

■背面パネル部



1 電源ソケット

3極AC電源ソケットです。AC電源からの電源コードを接続します。
※本製品は200Vの動作に対応していますが、100V用の電源ケーブルのみ同梱しています。
200V環境にて使用される場合は、お客様にて電源ケーブルをご用意ください。

2 電源スイッチ

ロッカースイッチで、電源のON・OFFができます。

3 キーボード接続ポート

セカンドコンソールとしてキーボードを接続できます。

4 マウス接続ポート

セカンドコンソールとしてマウスを接続できます。

5 VGA 接続ポート

セカンドコンソールとしてVGAディスプレイを接続できます。

6 3.5mmステレオミニジャック（出力）

セカンドコンソールとしてパソコン用スピーカーなどを接続できます。

7 VGAポート

本製品とサーバーもしくはパソコン自動切替器を接続します。

8 3.5mmステレオミニジャック（入力）

パソコンの音声出力と接続します。（付属の⑨オーディオケーブルをご使用いただけます）

9 接地ターミナル

製品本体を接地するための接地線を接続します。

■SPDBコネクタについて

本製品は CPU_VGA ポートは SPDB コネクタを使用しております。
コネクタの形状に改良を加えておりますので、本製品付属の「⑩パソコン接続用ケーブル」のみ本製品に接続することが可能です。

【SPDB18ピン】



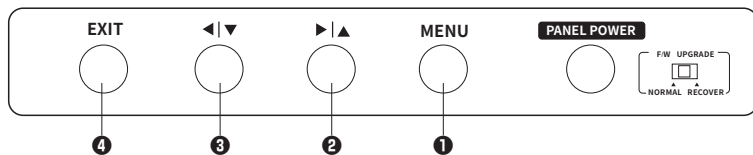
【SPDB15ピン】



※互換性あり

■LCDコントロール部

OSDを使用してLCDディスプレイのセットアップや設定を行うことができます。
設定には下表で示した4つのボタンが使用されます。



①MENUボタン

LCD OSDメニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、OSDメニュー機能を起動し、メインメニューを表示します。
また、OSDメニューが表示されている時、このボタンは決定ボタンとして機能します。

②[▶|▲]ボタン

メニューを操作する際に、このボタンを押すと右、または上に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を増やすことができます。

③[◀|▼]ボタン

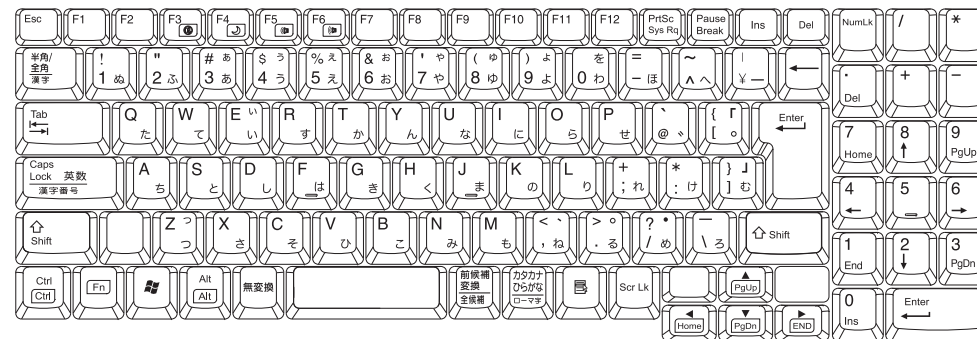
OSDメニューを操作する際に、このボタンを押すと左、または下に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を減らすことができます。

④EXIT

- ・LCD OSDメニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、自動調整を実行します。
自動調整では、OSD側で最適な設定値を自動検出してLCDディスプレイの設定を行います。
- ・LCD OSDメニュー機能を使用している時にこのボタンを押すと、現在のメニューをキャンセルし、1つ前にメニューに戻ります。設定が済んだら、このボタンを押して調整メニューを終了してください。
- ・メインメニュー機能使用時にこのボタンを押すと、LCD OSDメニューを終了します。

※設定方法は「P.20 LCD ディスプレイの調整」を参照してください。

■キーボード部



[Fn]キーとの組み合わせで緑枠表示のキー入力が可能です（一部除く）。

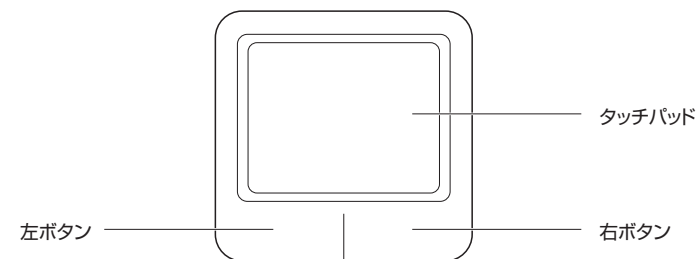
※[Fn]+[F3]～[F6]の組み合わせはサポートしていませんので使用しないでください。

仕 様

- ・JIS 準拠 日本語 105 キーボード (OADG 109A 準拠、テンキー付き)
- ・メンブレン方式
- ・キーピッチ：19mm
- ・ストローク：2.6mm

■タッチパッド部

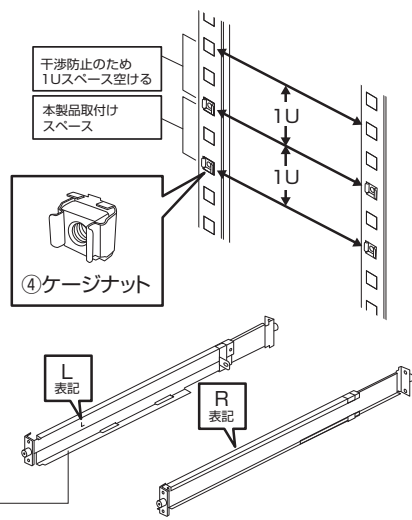
2本指で上下に操作すると画面をスクロールすることができます。スクロールは順方向に動きます。



5.サーバーラックへの取付け

1 ラックレールの取付け

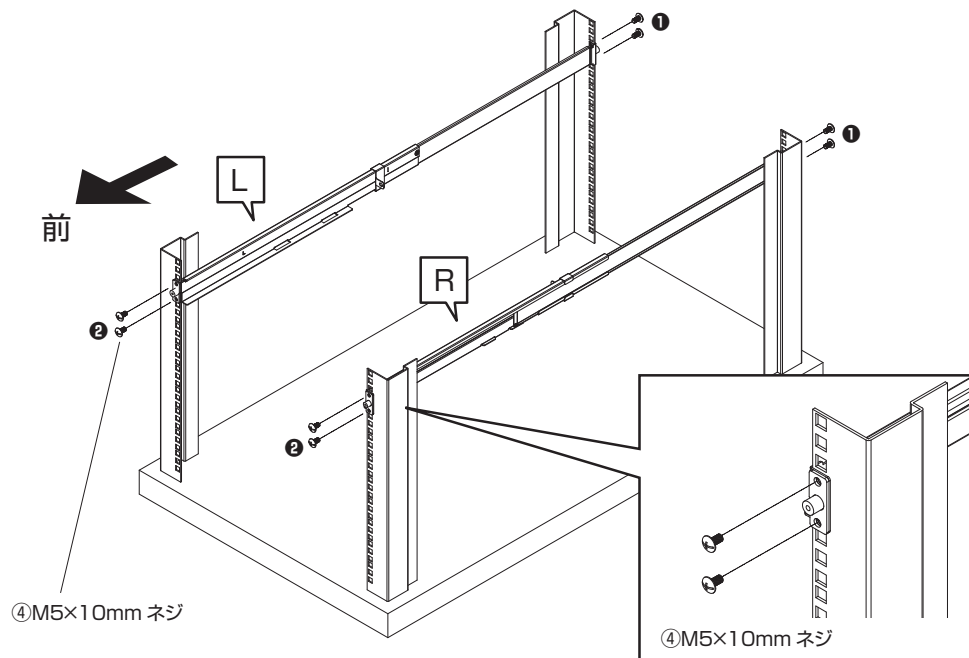
1. 本製品を取付けるための 1U のスペースと引き出し・格納時に上部装置との干渉を避けるための 1U のスペースを確保し、付属の「④ケージナット」をサーバーラック前後の設置部分に 4 個ずつ取付けます。下の装置とも干渉する恐れがある場合は、下にも 1U のスペースを空けるなど、搭載位置を変更してください。



2. ラックレールの L(左)/R(右)表記を確認し、L/R 表記が内側かつ本製品を載せる部分がラックの前側を向くよう準備します。

3. 後側のラックサポート外側にラックレールを合わせて、上下の穴を M5×10mm ネジ(計 4 本)で固定します。(下図中①)
4. 前側のラックサポート外側にラックレールを合わせて、上下の穴を M5×10mm ネジ(計 4 本)で固定します。(下図中②)

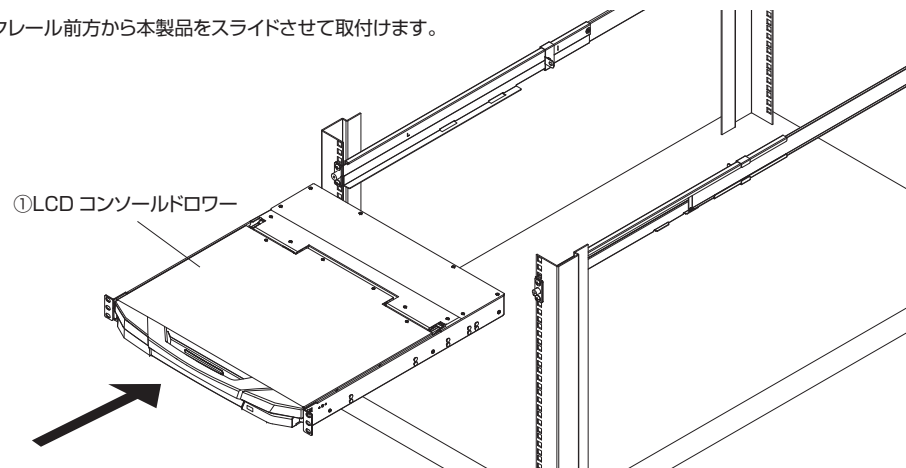
※対応ラックレール：奥行き 670～1050mm (パソコン自動切替器搭載時は 725mm 以上必要)



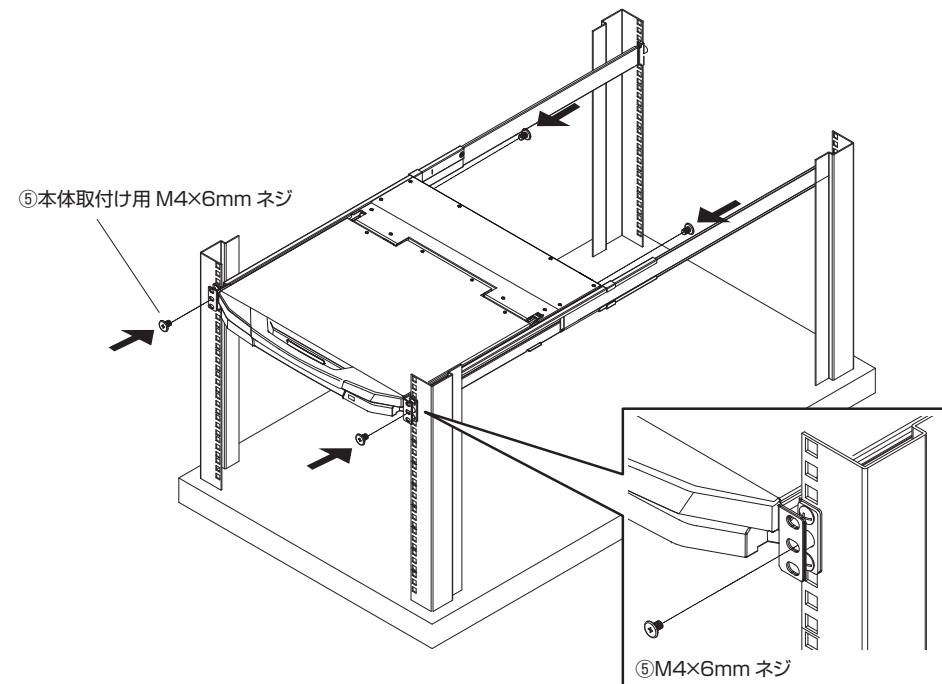
※ワッシャーは必要に応じてご使用ください。

2 本体 (LCD コンソールドrawer) をレールに取付ける

1. ラックレール前方から本製品をスライドさせて取付けます。

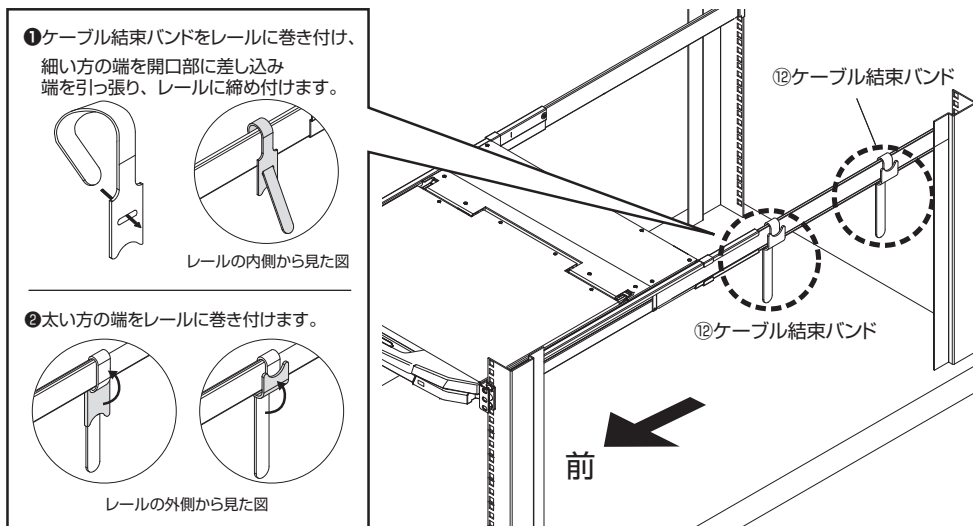


2. 本体 (LCD コンソールドrawer) を止まるまで押し込み、レール 4 箇所を⑤本体取付け用 M4×6mm ネジで固定します。

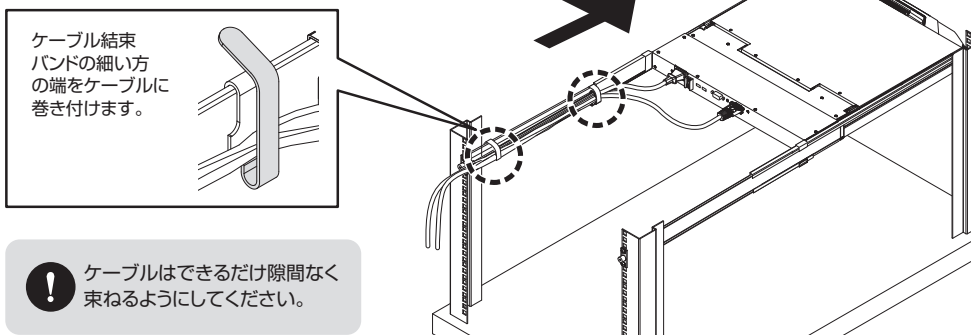


3. パソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) をラックレールに同時搭載する場合は付属の⑫ケーブル結束バンドで下記のようにケーブルをまとめてください。
下図のようにケーブルをまとめてください。
前側から見て右側のレールにケーブル結束バンドを取付けます。下図を参考に本製品付近とラックサポート付近にそれぞれ 1 本ずつ取付けてください。ケーブル結束バンドの取付け方は以下のとおりです。

※パソコン自動切替器をラックレールに同時搭載しない場合は、下記のように右側にケーブルを集める必要はありません。必要に応じて適切な配線を行ってください。



4. 本製品に付属の⑧パソコン接続ケーブルや⑦電源ケーブルなどを接続します。
(設置パターンに応じて P.15～17「6. サーバーとの接続」を参照してください)
必要に応じてケーブルを正面から見て右側のレールに集め、ケーブル結束バンドで固定します。

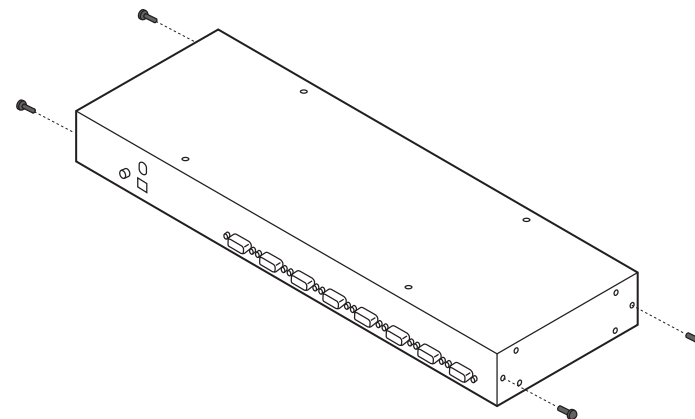


5. パソコン自動切替器 をラックレールに同時搭載する場合は P.13～「パソコン自動切替器 後方に取付ける場合」に、本製品をそのままサーバーへ接続する場合は P.15. 「6. サーバーとの接続」 にそれぞれ進んでください。

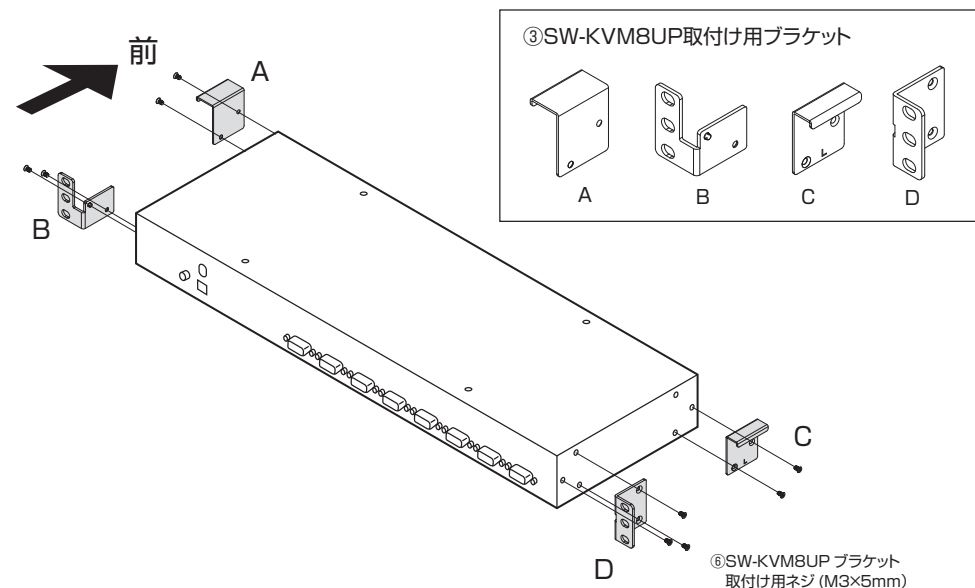
パソコン自動切替器を後方に取付ける場合

本製品添付のラックレールはパソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) の同時搭載が可能です。
同時搭載を行う際は以下の手順に従って取付けてください。

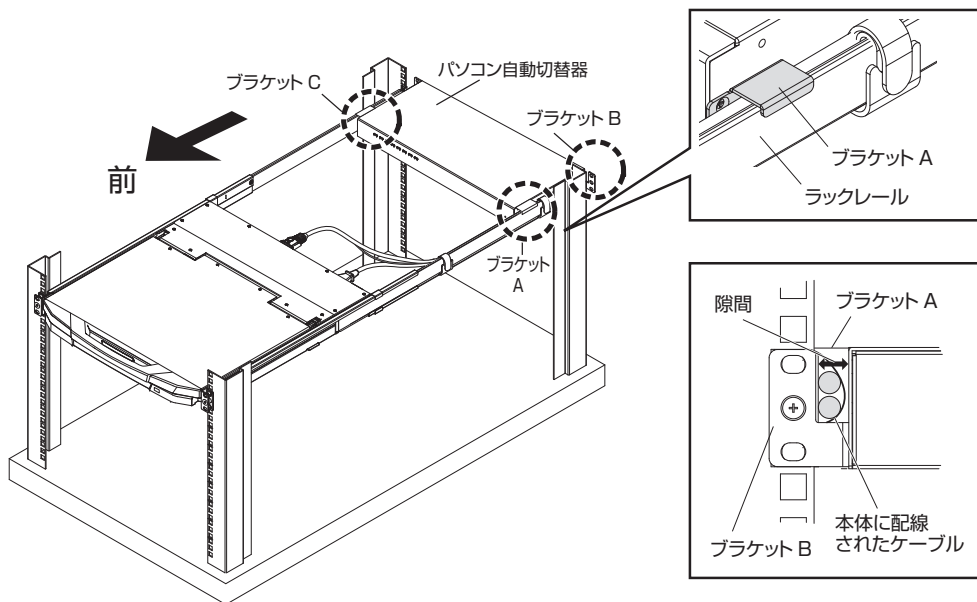
1. パソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) のネジを下図のように取外します。



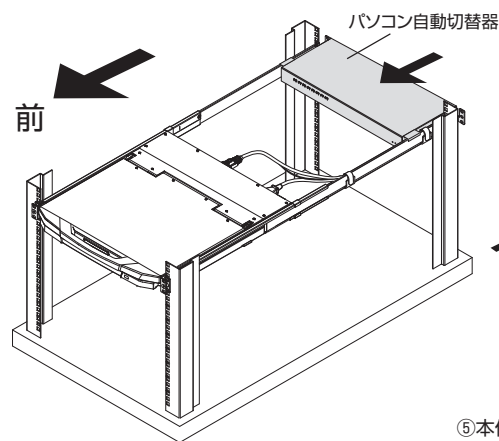
2. 本製品付属の⑥SW-KVM8UP ブラケット取付け用ネジ (M3×5mm) 9 本を使用して、本製品付属の③SW-KVM8UP取付け用ブラケット(前左・前右・後左・後右)をパソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) に取付けます。
ブラケットには L (左)、R (右) の表記があります。パソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) の前面 (ポート選択ボタン等がある面) から見てそれぞれ間違いのないよう取付けてください。



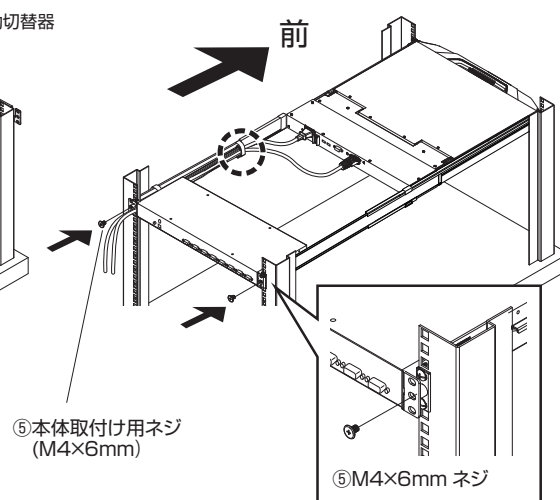
3. パソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) の前側ブラケット A・C はフック状になっており、下図のようにフックをラックレールに引っ掛けます。この時、右側の前側ブラケット A・B の隙間に本体に配線されたケーブルがパソコン自動切替器 (SW-KVM8UP) とラックレールの間を通るよう配線します。



4. パソコン自動切替器を図のようにラックの内側にスライドさせます。



5. 後側ブラケットを⑤本体取付け用ネジ (M4×6mm) で 1 箇所ずつ固定します。



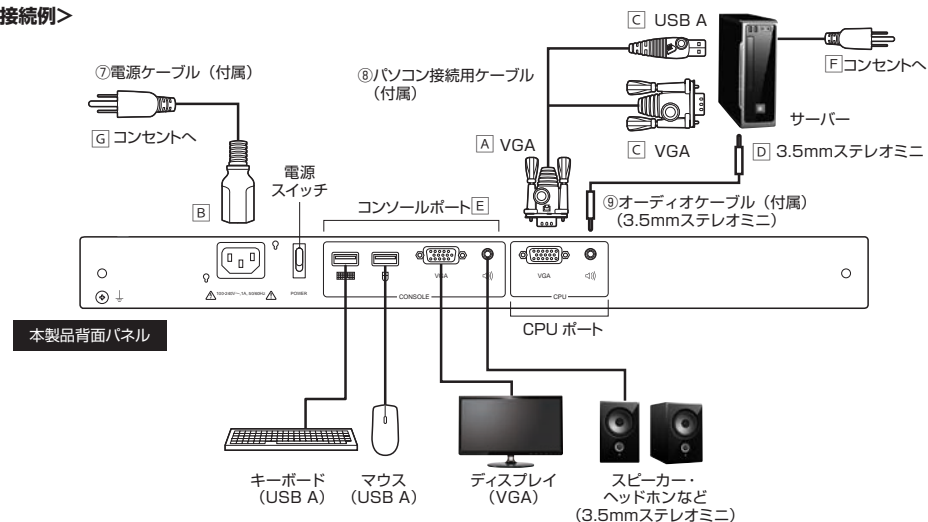
6. P16「6. サーバーとの接続 / パソコン自動切替器を組み合わせる場合」に進んでください。

6.サーバーとの接続

サーバーと本製品を接続する

- !** 本製品やサーバーおよび周辺装置の電源を OFF にしてからケーブル接続をしてください。ON のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- KVM ケーブルのコネクタを接続する際には、コネクタの固定ネジを締めて、確実に本製品およびサーバーに接続してください。確実に接続していない場合には画像が乱れたり、映らなかったりする恐れがあります。
- 接続の前に接続する全ての機器が正しく接地されていることを必ず確認してください。

<接続例>



1. 本製品付属の⑧パソコン接続用ケーブルを CPU_VGA ポートに接続します。(接続例 A 参照)

- !** 本製品は CPU_VGA ポートは SPDB コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、本製品付属の「⑧パソコン接続用ケーブル」のみ本製品に接続することが可能です。

2. 本製品付属の⑦電源ケーブルを本製品に接続します。(接続例 B 参照)
3. 本製品付属の⑧パソコン接続用ケーブルをサーバーに接続します。(接続例 C 参照)
4. 本製品付属の⑨オーディオケーブルで CPU_サウンドポートとサーバーの音声出力 (3.5mm ステレオミニ) に接続します。(接続例 D 参照)
5. マウス、キーボード、ディスプレイ、スピーカーをご使用の際は各コンソールポートに接続します。(接続例 E 参照)
6. サーバの電源プラグをコンセントに接続します。(接続例 F 参照) ただし、サーバの電源は OFF のままにします。
7. 本製品の⑦電源ケーブルをコンセントに接続します。(接続例 G 参照)
8. 全てのケーブルが正しく接続されていることを確認した後、本製品→サーバーの順で電源を ON にします。本製品の電源は背面の電源スイッチから投入できます。

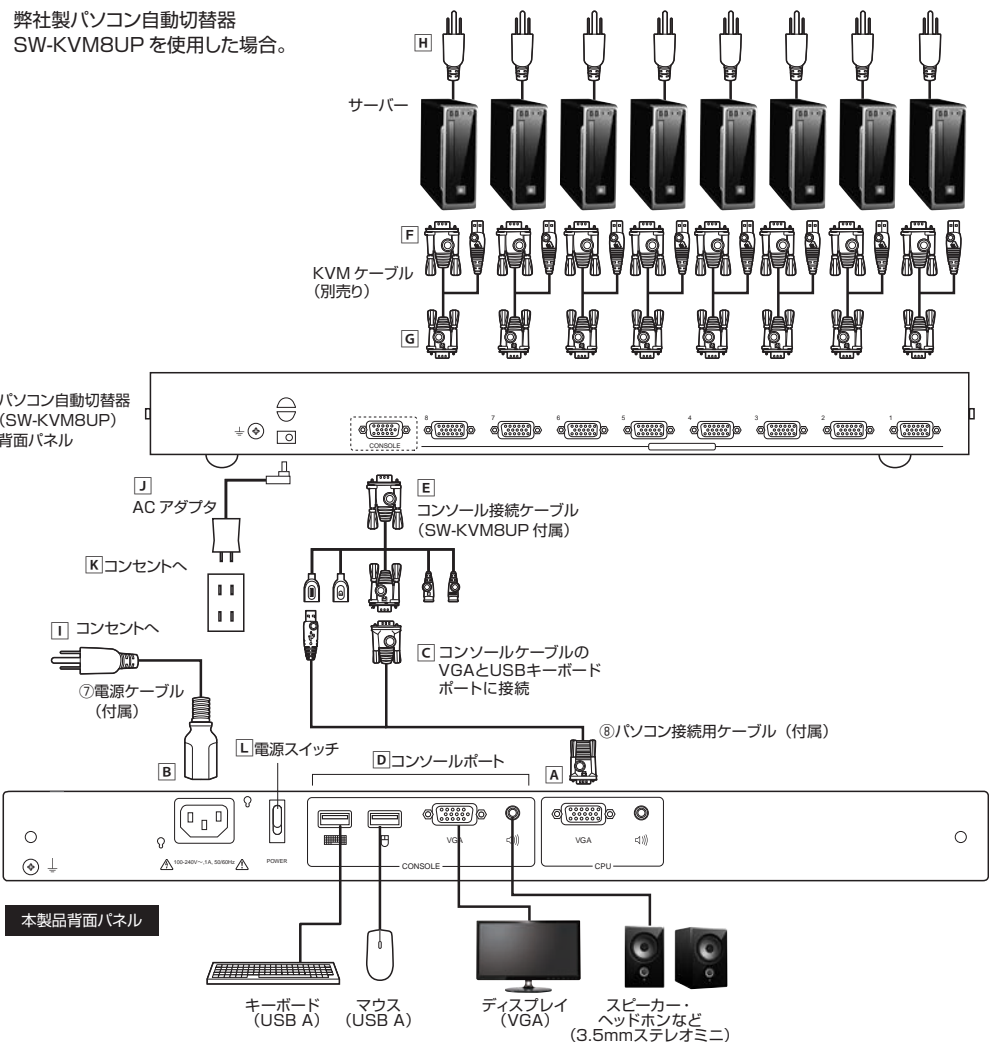
パソコン自動切替器を組み合わせる場合

パソコン自動切替器（別売り）と組み合わせて接続することで、接続可能なサーバ数を増やすことができます。

- 本製品やサーバおよび周辺装置の電源を OFF にしてからケーブル接続をしてください。ON のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
 - KVM ケーブルのコネクタを接続する際には、コネクタの固定ネジを締めて、確実に本製品およびサーバに接続してください。確実に接続していない場合には画像が乱れたり、映らなかったりする恐れがあります。
 - 接続の前に接続する全ての機器が正しく接地されていることを必ず確認してください。

<接続例>

弊社製パソコン自動切替器
SW-KVM8UP を使用した場合。



1. 本製品付属の⑧パソコン接続用ケーブルを本製品の CPU_VGA コネクタに接続します。(P16. 接続例A参照)


! 本製品は CPU_VGA ポートは SPDB コネクタを使用しております。
コネクタの形状に改良を加えておりますので、本製品付属の「⑧パソコン接続用ケーブル」のみ本製品に接続することが可能です。

3. 本製品付属の⑦電源ケーブルを本製品に接続します。(接続例③参照)
3. 本製品付属の⑧パソコン接続用ケーブルをパソコン自動切替器のコンソール接続ケーブルのVGAとUSBキーボードポートに接続します。(接続例④参照)
4. マウス、キーボード、ディスプレイ、スピーカーをご使用の際は各コンソールポートに接続します。(接続例⑤参照)
5. コンソール接続ケーブルをパソコン自動切替器に接続します。(接続例⑤参照)
6. KVMケーブル(別売り)を用意し、1台目のサーバに接続します。(接続例⑥参照)
7. パソコン自動切替器にKVMケーブルを接続します。(接続例⑥参照)2台目以降も同じ手順で接続します。
8. サーバの電源プラグをコンセントに接続します。(接続例⑦参照)ただし、サーバの電源はOFFのままにします。
9. 本製品の⑦電源ケーブルをコンセントに接続します。(接続例①参照)
10. パソコン自動切替器のACアダプタを接続します。(接続例②参照)
11. 全てのケーブルが正しく接続されていることを確認した後、パソコン自動切替器のACアダプタをコンセントに接続します。(接続例⑧参照)
12. 続いて本製品→サーバの順で電源をONにします。
本製品は背面パネルに電源スイッチがあります。(接続例⑨参照)

※KVM ケーブル（別売り）は弊社製のこちらをご使用ください。

品番：**SW-KLU180N**(1.8m)
品番：**SW-KLU300N**(3.0m)

USB KVM ケーブル
スイッチ側：SPDB-15
パソコン側：USB、VGA



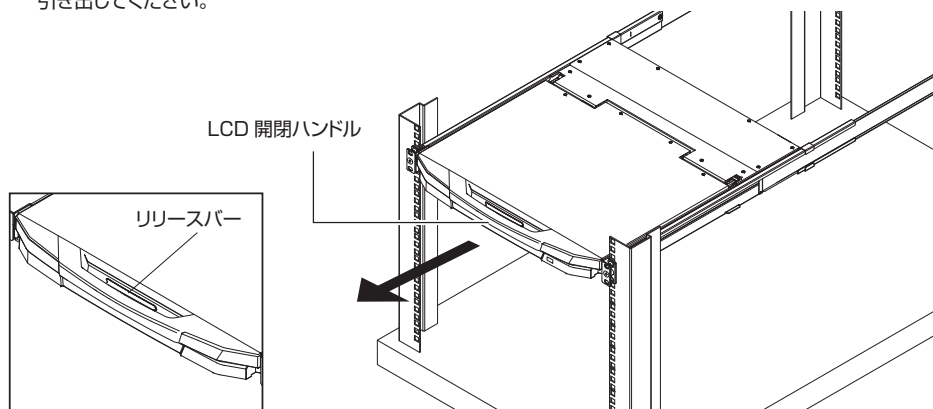
品番: **SW-KLU180N**(1.8m)
品番: **SW-KLU300N**(3.0m)

USB KVM ケーブル
スイッチ側：SPDB-15
パソコン側：USB、VGA



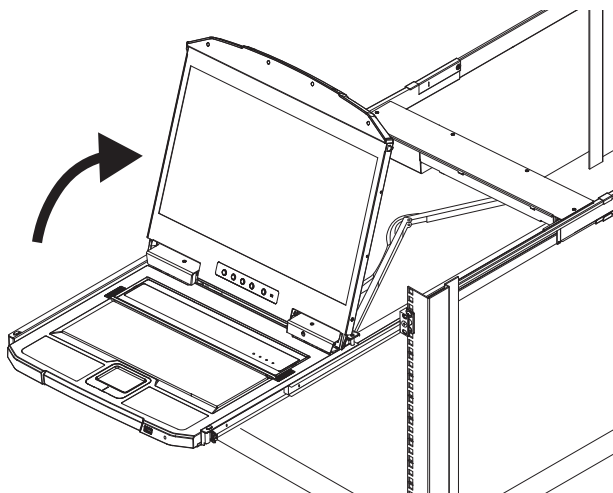
7. 本製品の引き出し方法

1. LCD 開閉ハンドルのリリースバーを握り、「カチッ」と音がするまで本製品を引き出してください。



❗ 「カチッ」と音がするまで少し強めの力でゆっくりと引き出してください。

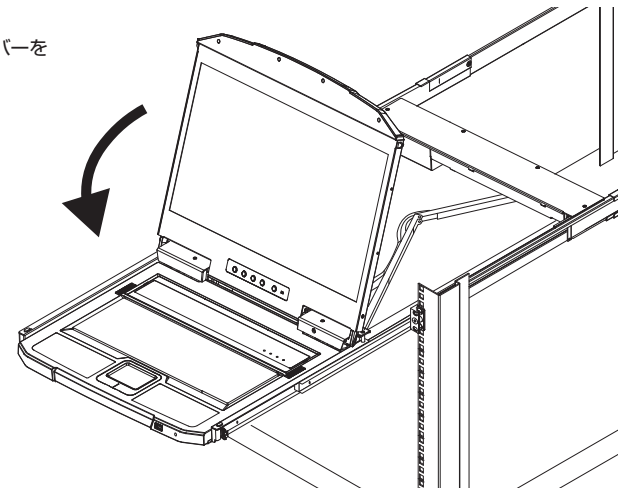
2. LCD 開閉ハンドルを持ち、リリースバーを手前に引きながら LCD ディスプレイを上側へ開きます。



❗ LCD ディスプレイは完全に引き起こしてご使用ください。

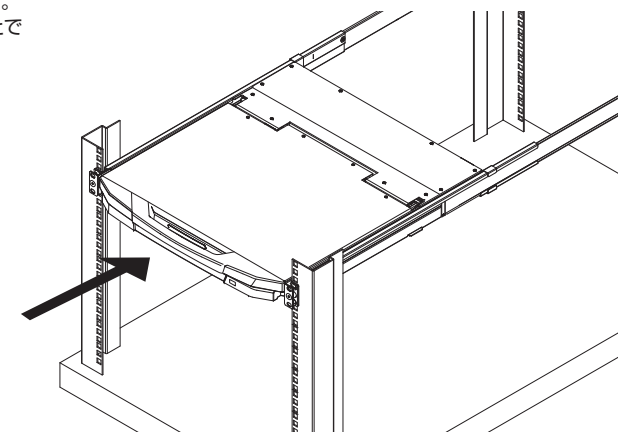
8. 本製品の格納方法

1. LCD ディスプレイを閉じる際には、LCD 開閉ハンドルを持ちリリースバーを手前に引きながら閉じます。



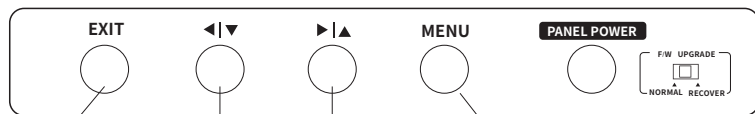
❗ 本製品の LCD ディスプレイを長時間使用しない場合は、省電力のためや LCD ディスプレイの寿命を延ばすために LCD ディスプレイの電源を OFF にすることをお勧めします。また LCD ディスプレイを閉じた場合や入力信号がない場合は自動的に LCD ディスプレイの電源は OFF となります。

2. 本製品の収納の際には、LCD 開閉ハンドルを持って本製品をラックへ格納します。この際少し強めの力で押し込むことでロックが解除されます。



9.LCD ディスプレイの調整

LCD ディスプレイの OSD メニュー



「EXIT」ボタン 「◀|▼」ボタン 「▶|▲」ボタン 「MENU」ボタン

1. 「MENU」ボタンを押し、LCD OSD メニューを表示します。
LCD OSD メニューでは次の設定項目について変更ができます。利用環境やお好みに応じて調整してください。

※メニュー下部には LCD ディスプレイのファームウェアバージョンが表示されます。

BRIGHTNESS/CONTRAST	BRIGHTNESS	50
COLOR TEMPERATURE	CONTRAST	50
INPUT SOURCE		
DISPLAY SETTINGS		
OTHER SETTINGS		
LANGUAGE		
INFORMATION		
X.XXXXX.XXX		

■設定項目

BRIGHTNESS/CONTRAST	BRIGHTNESS/ スクリーンイメージのバックグラウンドの明るさを調整します。(初期値：50)
	CONTRAST/ スクリーンイメージのフォアグラウンドのコントラストを調整します。(初期値：50)
COLOR TEMPERATURE	ディスプレイの色温度を調整します。赤みの度合いやカラーバランスが調整できます。(初期値：6500K[RGB=51、45、43])
INPUT SOURCE	本製品は Analog で固定となっています。
DISPLAY SETTINGS	H.POSITION/ LCD パネルの表示範囲の横方向の位置を設定します。表示範囲を左右に移動します。(初期値：50)
	V.POSITION/ LCD パネルの表示範囲の縦方向の位置を合わせます。表示範囲を上下に移動します。(初期値：50)
	PHASE/ ピクセルジッターまたは水平ラインノイズが画面に見える場合、ご使用の LCD パネルのフェーズ設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはフェーズ設定を調整してください。(初期値：接続対象に依存)
	CLOCK/ 画面縦方向の波が見える場合、ご使用の LCD パネルのクロック設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはクロック設定を調整してください。(初期値：接続対象に依存)
OTHER SETTINGS	OSD DURATION/ 画面に OSD メニューが表示される時間を設定することができます。OSD への入力がないまま、ここで指定した時間が経過すると、OSD メニューは終了します。(初期値：10)
	RESET/ LANGUAGE 以外のメニューおよびサブメニューで設定した値をすべてを工場出荷時の状態に復元します。
INFORMATION	解像度、水平周波数 (KHz)、垂直周波数 (Hz) を確認できます。
LANGUAGE	OSD メニューに表示される言語を選択します。(初期値：ENGLISH)

2. 「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンを押し、設定したい項目のアイコンに合わせます。

3. 「MENU」ボタンを押すと各設定画面を表示します。

OSD の設定方法

■ BRIGHTNESS/CONTRAST の設定方法

- 1 「MENU」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
- 2 「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンで [BRIGHTNESS/CONTRAST] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 3 [BRIGHTNESS] (または [CONTRAST]) を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 4 「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンで明るさ またはコントラストの調整をします。
- 5 「MENU」又は「EXIT」ボタンを押し、保存します。

※10 秒間何も操作をしない状態が続くと画面に表示中の設定が保存されます。
(OSD DURATION で 5～100 秒の間で設定可能)

2	3	4
BRIGHTNESS/CONTRAST	BRIGHTNESS	50
COLOR TEMPERATURE	CONTRAST	50
INPUT SOURCE		
DISPLAY SETTINGS		
OTHER SETTINGS		
LANGUAGE		
INFORMATION		
X.XXXXX.XXX		

■ COLOR TEMPERATURE の設定方法

- 1 「MENU」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
- 2 「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンで [COLOR TEMPERATURE] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 3 [COLOR TEMP.] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 4 「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンで色温度の選択をします。
色温度は 6500K、7500K、9300K を選択できます。また [User Color] でお好みの色合いに設定できます。
- 5 「EXIT」ボタンを押し、保存します。

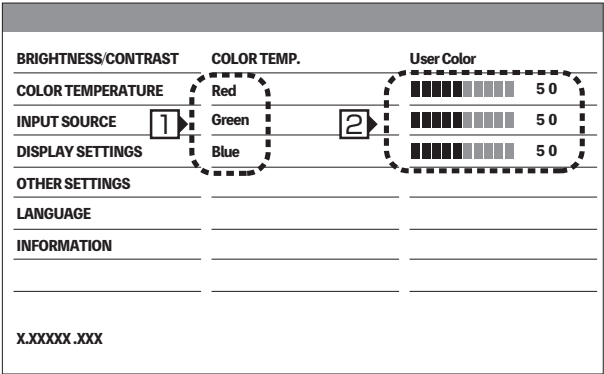
2	3	4
BRIGHTNESS/CONTRAST	COLOR TEMP.	6500K
COLOR TEMPERATURE	Red	7500K
INPUT SOURCE	Green	9300K
DISPLAY SETTINGS	Blue	User Color
OTHER SETTINGS		
LANGUAGE		
INFORMATION		
X.XXXXX.XXX		

COLOR TEMPERATURE の設定方法

User Color を選択した場合

- 1 「▶ | ▲」又は「◀ | ▼」ボタンで Red、Green または Blue を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 2 「▶ | ▲」ボタン又は「◀ | ▼」ボタンで値の調整を行います。
- 3 「MENU」又は「EXIT」ボタンを押し、保存します。

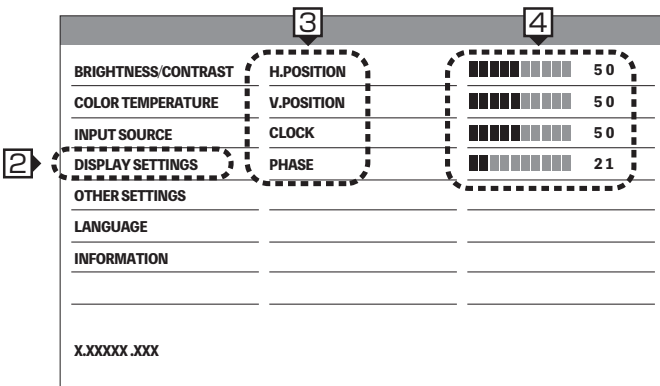
※カラー設定画面で色温度を選択する際は必ず [MENU] ボタンで保存してください。
保存しなかった場合、選択していた色温度設定は保存されません。
ただし User Color 設定は、10 秒間何も操作をしない状態が続くと画面に表示中の値が保存されます。
(OSD DURATION で 5～100 秒の間で設定可能)



DISPLAY SETTINGS の設定方法

- 1 「MENU」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
- 2 「▶ | ▲」ボタン又は「◀ | ▼」ボタンで [DISPLAY SETTINGS] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 3 [H.POSITION または V.POSITION]、[CLOCK]、[PHASE] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 4 「▶ | ▲」ボタン又は「◀ | ▼」ボタンで水平位置、または垂直位置、クロック値、フェーズ値の調整をします。
- 5 「MENU」又は「EXIT」ボタンを押し、保存します。

※10 秒間何も操作をしない状態が続くと画面に表示中の設定が保存されます。
(OSD DURATION で 5～100 秒の間で設定可能)

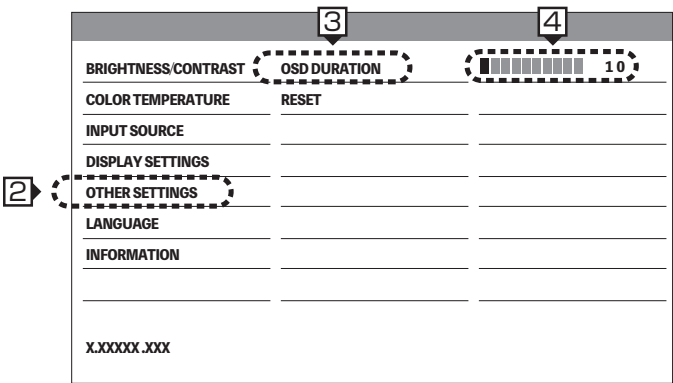


OTHER SETTINGS の設定方法

OSD DURATION の設定

- 1 「MENU」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
- 2 「▶ | ▲」ボタン又は「◀ | ▼」ボタンで [OTHER SETTINGS] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 3 [OSD DURATION] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 4 「▶ | ▲」ボタン又は「◀ | ▼」ボタンで表示時間の調整をします。
- 5 「MENU」又は「EXIT」ボタンを押し、保存します。

※10 秒間何も操作をしない状態が続くと画面に表示中の設定が保存されます。
(OSD DURATION で 5～100 秒の間で設定可能)



RESET (リセット) の方法

- 1 「MENU」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
- 2 「▶ | ▲」ボタン又は「◀ | ▼」ボタンで OTHER SETTINGS を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- 3 [RESET] を選択し、「MENU」ボタンを押すとリセットが実行されます。

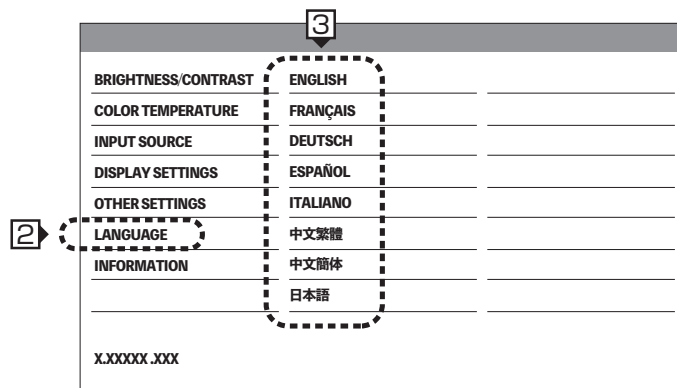
リセット後の設定値

BRIGHTNESS (明るさ)	50	COLOR TEMPERATURE (色温度)	6500K (RGB= 51、45、43)
CONTRAST (コントラスト)	50	User Color	50、50、50
PHASE (フェーズ)	接続対象に依存	LANGUAGE (言語)	—
CLOCK (クロック)	接続対象に依存	OSD DURATION (OSD 持続時間)	10
H-POSITION (水平位置)	50	アスペクト比	Wide
V-POSITION (垂直位置)	50		

※「—」はリセットされません。

■ LANGUAGE の設定方法

- ①「MENU」ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
- ②「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンで [LANGUAGE] を選択し、「MENU」ボタンを押します。
- ③「▶|▲」ボタン又は「◀|▼」ボタンで言語を選びます。
- ④「MENU」ボタンを押し、保存します。



画面アスペクト比の変更

本製品は画素数 1366×768 の LCD ディスプレイを搭載しており、P25.「10. サポート解像度 / リフレッシュレート (垂直周波数)」の入力解像度に対して、スケーリング表示 (拡大 / 縮小) により表示しています。4:3 や 5:4 のアスペクト比の入力解像度に対しては、通常 LCD ディスプレイの画面アスペクト比 (16:9) にスケーリングされますが、画面アスペクト比を切替えて表示することができます。



■ 画面アスペクト比の変更方法

1. ディスプレイの下部の [MENU] ボタンを 4 秒間長押しする OSD が表示され、現在のモードが表示されます。(Wide または 4:3)
2. 「◀|▼」ボタンまたは「▶|▲」ボタンを押して切替えるアスペクト比を「Wide」または「4:3」に切替えることができます。



- 変更が可能なのは入力解像度が下記の時のみです。それ以外は「Wide」モードのみの表示となります。
640×480(VGA)、800×600(SVGA)、1024×768(XGA)、1280×1024(SXGA)
- アスペクト比のモード設定は OSD メニューからリセットしない限り維持されます。

10. サポート解像度 / リフレッシュレート (垂直周波数)

本製品の LCD ディスプレイがサポートする解像度 / リフレッシュレートは以下の通りです。サーバ側では、搭載されるグラフィックスアクセラレータで対応可能なモード (解像度、リフレッシュレート等) を選択して設定してください。ただし設定したモードによっては、ちらつきやにじみが生じることがあります。その場合は、LCD ディスプレイの自動調整や手動での調整を行ってください。また、サーバ側で別のモードに変更することで改善されることがあります。

■ VGA アナログポート

解像度	垂直周波数 (Hz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
640×480	60	1280×800	60
	72	1280×1024	60
	75		75
720×400	70	1366×768	60
800×600	56	1440×900	60
	60	1680×1050	60
	72	1920×1080	60
	75	1920×1200	60
1024×768	60		
	70		
	75		



- 電源投入直後やOS起動時にLCDディスプレイに正常な画面位置で表示しなかったり、画面が点滅することがありますが故障ではありません。通常、数秒で正しい画面サイズに自動修正されます。
- 1366×768以外の解像度の場合、文字の輪郭やアイコンに滲みが出ることがあります。これはスケーリング表示されている影響であり不具合ではありません。
- 画面上の一部に点灯しない、または常時点灯するドットが存在する場合がありますが、LCDディスプレイの特性であり故障ではありません。

11.ホットキー操作

ホットキーで本製品の各種操作を行うことができます。

ホットキー	動作	ビープ音	LED
[Ctrl] [Alt] [Shift] [P] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションをノーマルモード (Windowsなど)に設定します。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [M] [A] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションをMacに設定します。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [Enter]	ローカル(LCD)コンソールを有効にし、 リモート(セカンド)コンソールを無効にします。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [Enter]	リモート(セカンド)コンソールを有効にし、 ローカル(LCD)コンソールを無効にします。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [R] [Enter] または [Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [L] [Enter]	両方のコンソールを有効にします(デフォルト値)。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [M] [Enter]	フロントUSBポートをマウスモードに設定します。 (マウス機能はすぐにUSBマウスモードに切り替わります) (USBマウスモード[U][M]はデフォルトです)	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [P] [Enter]	フロントUSBポートを周辺機器モードに設定します。	2	なし
[Ctrl] [Alt] [Shift] [F4] [Enter]	製品本体の設定内容をテキストとしてコピーします。 設定内容はテキストエディターやワープロソフトに 貼り付けて確認することができます。	なし	なし



- キーは、まず [Ctrl]、次に [Alt]、次に [Shift] というように、1 つずつ順番に押してください。
- コンソールの選択状態は保存されません。本製品の電源を切ると、次に電源を入れた時には両方のコンソールが有効となるデフォルト値に戻ります。
- [Shift] [Ctrl] [Alt] の各キーは、左側のキーを使用してください。
- 本製品に接続されているパソコン自動切替器で [Ctrl] [Alt] [Shift] というキーを使用してホットキーモードを起動させる場合、本製品はそのホットキーをまずコンソールの選択用のホットキーと捉えるため、パソコン自動切替器側のホットキー操作が重複していないかご確認ください。

12.シャットダウンと再起動

本製品をシャットダウンする必要がある場合、背面パネルにある電源スイッチを使用して電源を切ってください。
再起動する場合は、この電源スイッチを押して電源を入れてください。

※再起動する場合は 20 秒以上空けるようにしてください。